

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
理事(技監)

北條 泰輔 先生

「PMDAの役割～世界第一級の
審査・安全対策機関を目指して」

平成26年11月26日(水)

11:00～12:00

薬学部宮本記念館コンベンションホール

PMDAは、本年4月から第3期中期計画に基づく業務を開始している。今後5年間に定員数を751人から1,065人にまで増員し、安全対策を強化しつつ審査ラグ「0」の実現と開発ラグ解消を支援することを主要課題とし、様々な取組みを行うこととしている。また、来年4月に設立される日本医療研究開発機構と有機的に連携することにより、日本発の革新的医薬品、医療機器、再生医療等製品等の実用化が促進化されることが期待されている。

このような目標を達成するためには、PMDAの審査機関としてのレベルを米国FDAに匹敵するところまで引き上げて行かねばならない。特に、アカデミアとの交流は重要であり、国内トップクラスのアカデミアをメンバーとする科学委員会を設置し意見交換する場を設けるとともに、革新的医薬品等実用化促進事業を通じてアカデミアとの人的交流も深めている。